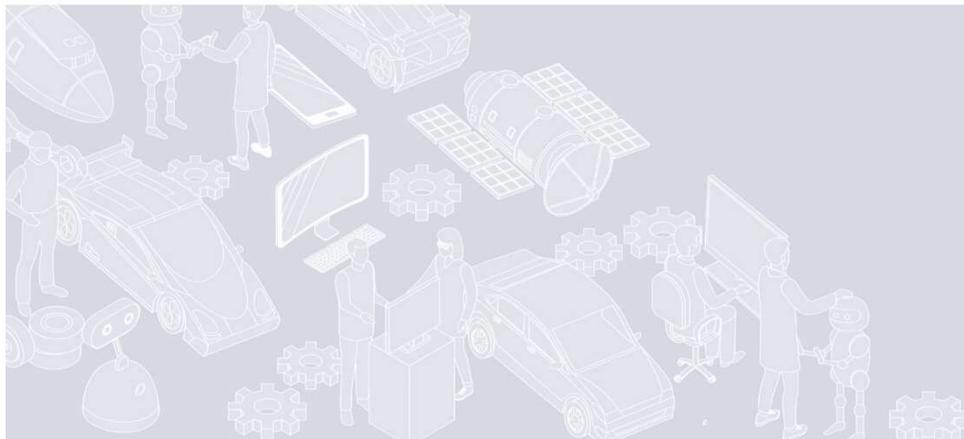




未来を思考する「モノづくり」と「ひとづくり」



X on Campus, Campus on X



2024年2月22日

先端技術の実証・評価環境

12ヶ国・13機関に利用され、宇宙開発利用大賞も受賞するような、超小型人工衛星等の世界的研究開発拠点「革新的宇宙利用実証ラボラトリー」を成功モデルに、学内外に先端技術の「作ってすぐに試せる場」を整備を進めている。

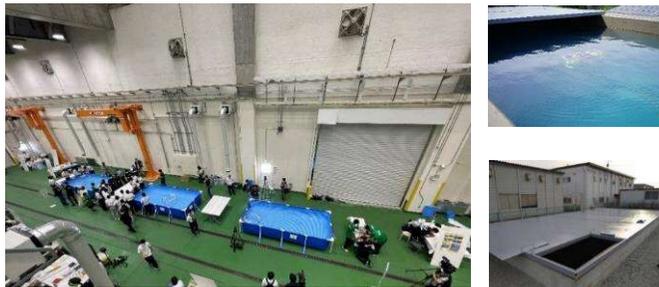
革新的宇宙利用実証ラボラトリー



日本に3拠点のみのB5G
テストベッド運用



水中ロボット/通信テストベッド開発

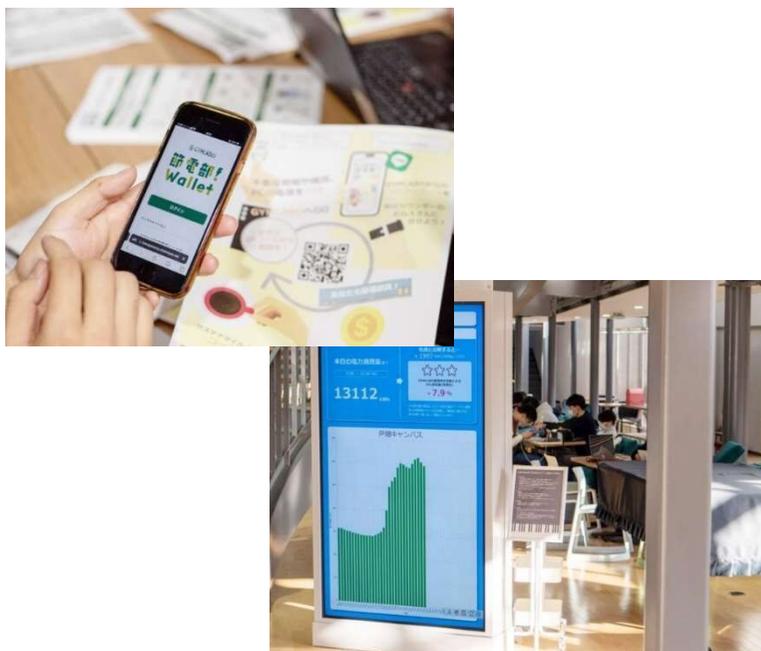


人工衛星/宇宙通信テストベッド開発



地域一体となったイノベーション創出へ

先端科学技術で「ありたい未来」を創造するには、リアル環境での実証と社会で利用可能とするためのルール作りが不可欠



行動変容支援技術の実証

(株)Chaintope、北九州市立大学との共同実証事業
「GYMLABO節電部!」



サービスロボットの实証

Hibikino-Musashi@Home(HMA)による北九州市の居酒屋
『てっぱんファミリーKUWA』での実証事業

地域一体となったイノベーション創出へ

先端科学技術で「ありたい未来」を創造するには、リアル環境での実証と社会で利用可能とするためのルール作りが不可欠



※国家戦略特区とは、規制改革を総合的かつ集中的に推進し、産業の国際競争力の強化、国際的な経済活動の拠点の形成の促進を図る制度であり、北九州市は、全国で13しかない国家戦略特区区域の1つとして指定されています。

令和3年10月に規制改革が全国で実現。配管・水中検査ロボットを対象とした実験許可申請では、事前の予備実験が不要に！

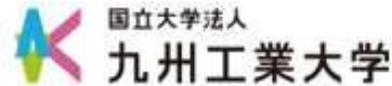
⇒配管・水中検査ロボットの二重配線（電力線、通信線）問題解決に貢献!!



「屋外の移動式発電機と接続した電力線に高速PLCを活用する配管又は水中検査ロボットの实验許可申請については、予備実験を不要とする」

KIC、北九州市との連携ビジョン

イノベーションを実現するための
「モノづくり」と「ひとづくり」



次世代技術の開発・実証



全世代への教育展開

「近未来技術の開発・実証拠点」の形成

電波法・特定実験試験局免許の迅速な取得

電波を活用した実証実験を行う際、迅速な免許発給が可能に。



北九州高度産業技術実証ワンストップサポートセンター

民間事業者や研究機関などによる自動走行、小型無人機、電波利用の実証実験が円滑に実施できるよう、ワンストップでサポート。

先端技術の社会実装に必要なルール整備

北九州市
国家戦略特区
FUTURE CITY KITAKYUSHU

全国的にも珍しい
商業施設を活用したリアルな実証環境



KiC KITAKYUSHU
INNOVATION
CENTER



地域から世界を変革する事業と人材を輩出!!

国立大学法人
九州工業大学

Kyushu Institute of Technology